

このたび、日本先天異常学会奨励賞副賞を頂き、2018年11月3日から7日まで開催された Neuroscience 2018 に参加させて頂きました。学会は、サンディエゴの Convention Center で行われました。私は、国際学会への参加が本会への参加も含め2回しかなく、また現地で教室の先生と待ち合わせをするということからとても緊張しての参加となりました。それでも、今回は副賞を頂いての参加でありましたので、しっかりと勉強してこようと意気込んで行ってきました。

会場は、とても広くポスター会場においても非常に活気がありました。展示ブースもたくさんあり勉強になりました。私の発表は、7日午前の部の Neural Cell Proliferation のセッションでした。時代とともにトピックが変わる世界であることを目の当たりにした会でもありました。脳の発生とその発生異常を基に発症する病気に、私自身の研究分野がありますので、参加前からその分野に欠かせない神経幹細胞、オルガノイドを用いた研究の動向を中心に情報の収集に努めました。大変勉強になりました。

学会では、大学時代の部活動を通しての知り合いに卒業後10年と少し経ちますが、偶然会場で出会い、お互いの近況で話が盛り上がりました。彼は、世界的に有名な脳神経外科病院に研究留学中であり、世界で活躍する姿をみて、自分も頑張ろうという気持ちになりました。

最後になりましたが、このような学会参加の機会を与えて頂きました、日本先天異常学会ならびに関係の皆様には感謝いたします。今回の学会参加で得た知識とモチベーションを今後の研究と診療に活かして、微力ながら日本先天異常学会の発展に貢献できるよう励んでいきたいと思っております。